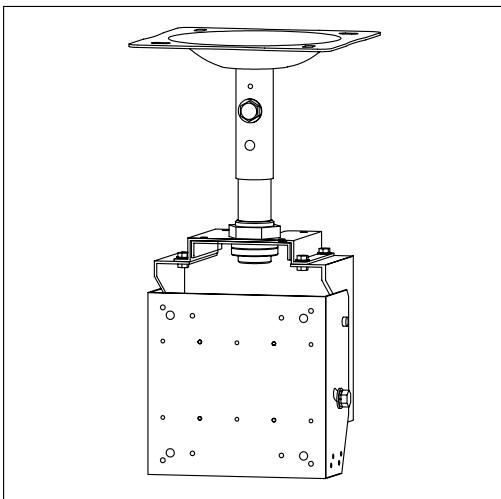




PDP・大型液晶モニター用天吊り金具  
型番：KHP-330



このたびは、ハイテクフォーラム天吊り金具をお買い求めいただきまして、まことにありがとうございます。本製品の性能を十分に発揮させ、効果的にご利用いただくため、ご使用の前に「組立設置説明書」を必ずお読みになり、安全に正しくお使いください。お読みになったあとは、必要に応じていつでも取り出せるよう大切に保管してください。

### 取付業者指定商品

取付工事は必ず取付工事専門業者にご依頼ください。

この商品は落下事故などの危険を防ぐため、取付方法などに十分注意をする必要があります。

従って、本製品は十分な技術、技能を有する取付工事専門業者が施工を行うことを前提として販売されている「取付業者指定商品」です。

### 事故損傷について

組立不良、取付工事不良、取付強度不足、誤使用改造および、天災などによる事故などにつきましては、当社は一切責任を負いません。

### ○安全上のご注意

#### 絵表示について

この組立設置説明書には、色々な絵表示をしています。これは、製品を正しく組立・設置いただき、人への危害や財産への損害を未然に防止するための表示です。表示と意味は次のようにになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

	<b>危険</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
	<b>警告</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負うことが想定される内容を示しています。
	<b>注意</b>	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容および、物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

#### 絵表示の例



△記号は注意（危険、警告を含む）を促す内容であることを告げるものです。



◎記号は禁止の行為であることを告げるものです。

### !**危険**

本製品のボルト、ワッシャ類などは全て確実に取り付けてください。不完全な組立はモニターおよび、天吊り金具の落下、死亡事故の原因となります。

各パーツの取付箇所、取付方向を正確に行うために、組立設置説明書をよくお読みになり、最適な場所に最適な方法で確実に取り付けてください。

### !**危険**

取り付けは必ず取付工事専門業者にご依頼ください。

本製品は、モニターを含めると最大で約70kgの質量となります。天井より吊り下げる場合、組立、設置に不備がありますと落下し、死亡事故の原因となります。

死亡事故防止のため、設置場所の構造、材質、強度を十分に確認し、最適な方法で確実に行ってください。設置後は必ず強度確認を行ってください。

### !**危険**

本製品にはモニターの取り付けビスを付属していますが、ご使用になるモニターの機種によってはビスサイズ（ネジ径、長さ）が適合しない場合もありますので、その際はモニターに合った適切なサイズのビスを別途ご用意ください。

誤ったサイズのビスで無理に取り付けすると、モニターにダメージを与えたり、モニターが落下するなどして、破損やケガの原因となります。

### !**警告**



次のような場所には設置しないでください。モニターが倒れたり、落下して、けがや破損の原因となります。

- ・屋外や海岸、温泉に近い場所。
- ・動力用電源配線、空調機器、防磁型ではないスピーカーに近い場所。
- ・人がぶら下がったり、寄り掛かったりするような場所。
- ・ぐらついたり、傾いた不安定な場所。
- ・振動や衝撃のある場所。



本製品には、天井などに固定するためのアンカーボルト類は付属しておりません。  
設置場所に合わせて別途ご用意ください。

### !**注意**



電気工事は、専門業者にご依頼ください。設置時に（芯線の露出、断線など）電源コードを傷め、そのまま使用すると、火災、感電の原因となります。



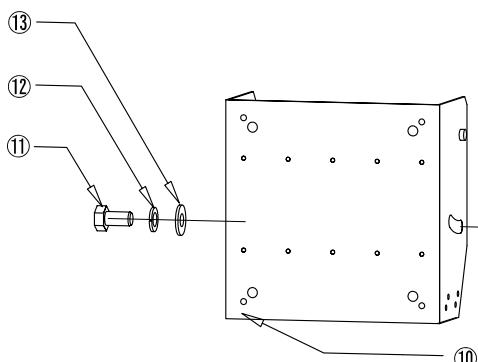
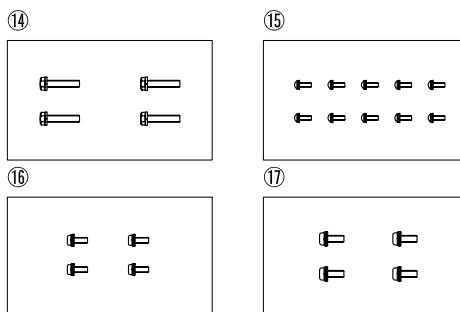
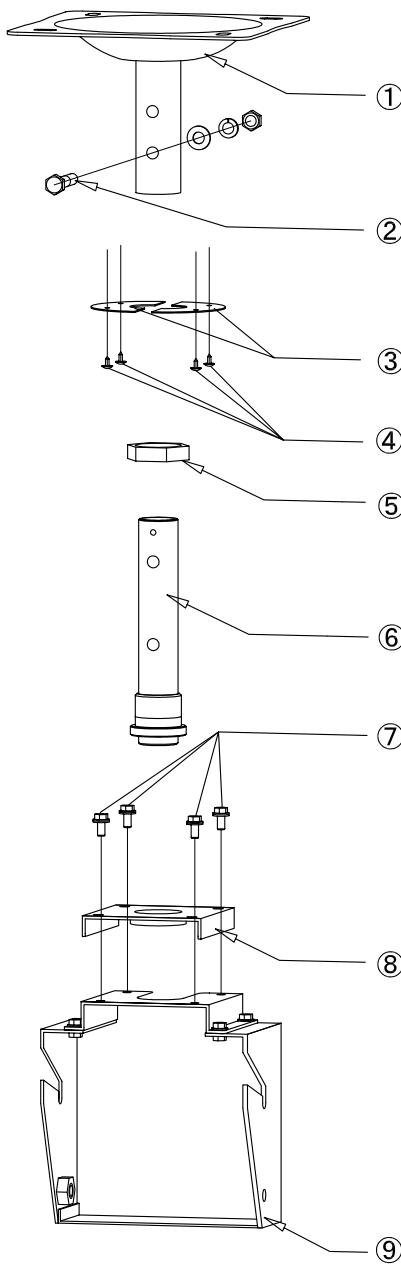
作業スペースは十分に確保してください。けがや破損の原因となります。



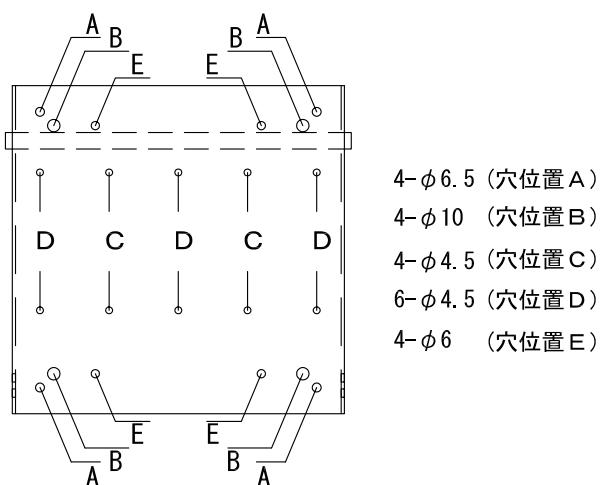
設置場所に通っている配線、配管を確実に避けてください。火災、感電の原因となります。

## ■構成部品

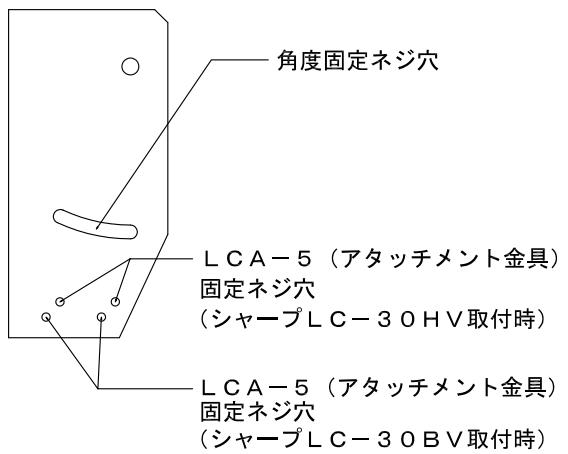
KHP-330パーティリスト		
No.	名 称	個数
①	天井ベース (別売り)	1
②	M12×70ボルト、ナット (Sワッシャ、平ワッシャ付)	1
③	化粧パネル (2枚一組)	1
④	タッピングネジ (5×10)	4
⑤	M50ナット (固定ビス付)	1
⑥	連結パイプ A～E (別売り)	1
⑦	P3-M8×20アブセットボルト	4
⑧	スライドパネル	1
⑨	モニターマウントB	1
⑩	モニターマウントA	1
⑪	M 12 × 30 ボルト	2
⑫	M 12 スプリングワッシャ	2
⑬	M 12 平ワッシャ	2
⑭	P 2 - M 6 × 30 アブセットボルト	4
⑮	P 2 - M 4 × 12 ナベ	10
⑯	P 3 - M 5 × 14 ナベ	4
⑰	P 3 - M 6 × 15 ナベ	4



【モニターマウントA正面図】



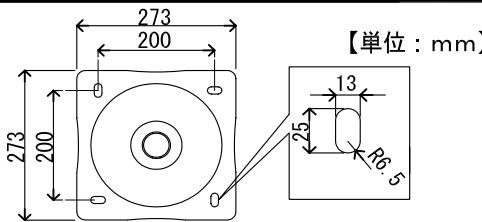
【モニターマウントA側面図】



## ■取り付け工事手順

### 1. 取り付け場所の強度確認

- 天吊り金具の質量は約11キロ（※連結パイプE含む）ですが、天吊り金具に取り付けるモニタ一本体は機種により約50キロ以上あります。
- 右図天井ベースの寸法図を参照のうえ、4箇所の取り付け位置の天井強度確認を行い、強度が不足する場合は十分な補強を行ってください。



### 2. 天井ベース①を天井に取り付ける

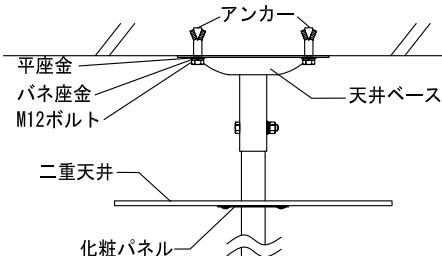
天井ベース①を天井に固定します。取り付けは天井の構造に最適な方法で行ってください。



#### 注意

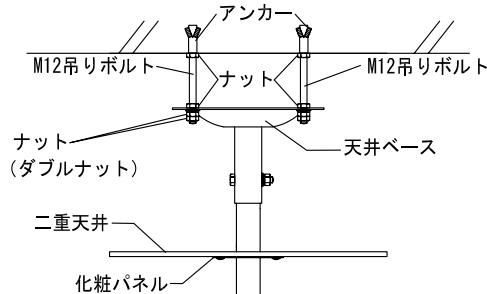
- 本製品には天井に固定するためのビス類は付属しておりません。天井に取り付ける方法は取り付け場所の構造、材質により大きく異なります。以下に示す例を参考に、金具を安全な方法で固定してください。
- 天井ベースを固定するボルト、アンカーボルト、吊りボルトはM12を使用してください。

### 基礎天井のスラブ（鉄筋コンクリート）に取り付ける場合（参考）



#### (直接固定)

- 天井に、インパクトドリルで穴をあけ、アンカーセッターでアンカーを打ち込む。
- 天井ベースを平座金、バネ座金、ボルトで固定する。



#### (吊りボルト使用による固定)

- 天井に、インパクトドリルで穴をあけ、アンカーセッターでアンカーを打ち込む。
- 吊りボルトをアンカーに取り付け、ナットで固定する。
- 天井ベースを吊りボルトに取り付け、ナットで固定する。



#### 禁止

- スラブの穴あけには、振動ドリルを使用しないでください。穴が広がり、アンカーが抜けやすくなり、モニターおよび、天吊り金具が落下し、死亡事故の原因となります。



#### 危険

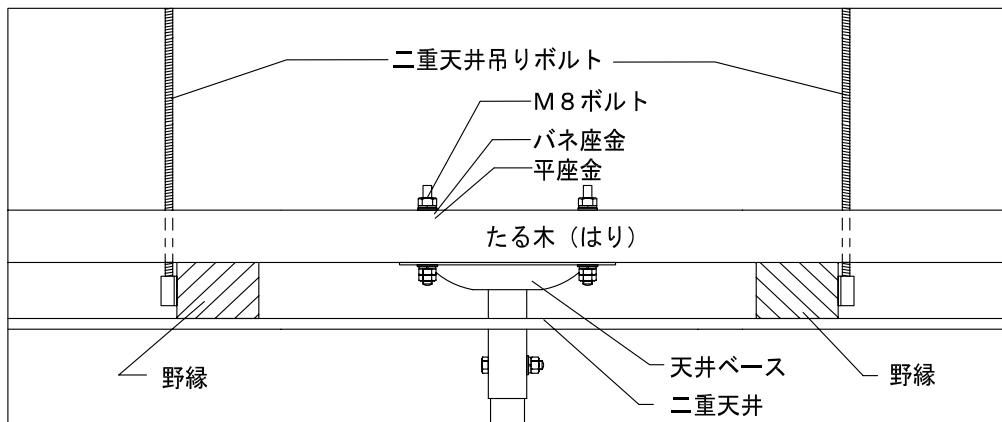
- アンカー取付後は、必ず強度確認を行ってください。取付不良やコンクリート不良により、抜ける場合があります。



#### 危険

- 本製品の各ボルト、ネジ、ナットは確実に取り付けてください。モニターおよび、天吊り金具が落下して、死亡事故の原因となります。

### 二重天井に取り付ける場合（基礎天井に取り付けできない場合）（参考）



(1) 二重天井を吊っている吊りボルトの近くにたる木（はり）をかける。

(2) たる木（はり）に天井ベースをボルト、平座金、バネ座金、ナットで固定する。



#### 危険

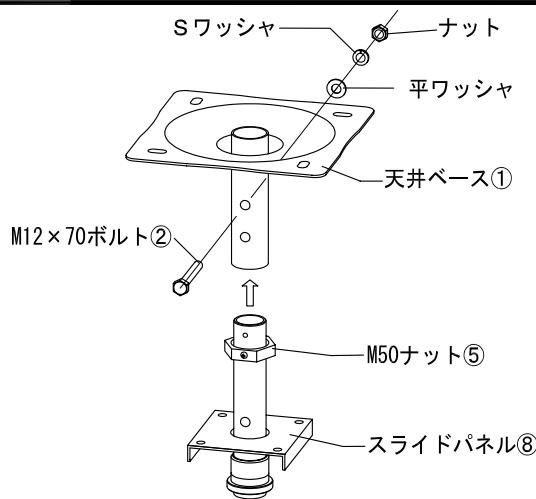
- 二重天井の強度、野縁の強度が十分でない場合は必ず補強してください。液晶テレビおよび、天吊り金具が落下し、死亡事故の原因となります。
- たる木（はり）は設置後に野縁からズレないように固定してください。



#### 危険

- 天井ベースを固定するためのボルト、ナット類は付属されておりません。

### 3. 天井ベース①に連結パイプ⑥を取り付ける



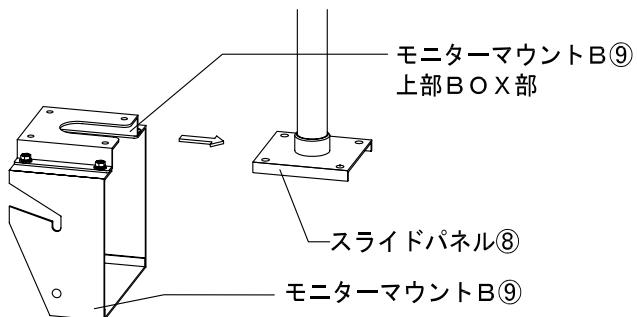
(1) ご使用になる連結パイプ⑥にスライドパネル⑧を通し、次にM50ナット固定ビス付⑤を連結パイプに通してください。

(2) 固定済みの天井ベースに、手順3.の(1)で用意した連結パイプ⑥を差しこみ、穴位置を合わせ同梱のM12×70ボルト、平ワッシャ、Sワッシャ、ナット②で確実に組み付けてください。

#### 注意

- 連結パイプ内に配線を通す場合は、天井ベースと連結パイプを組み付ける前に配線を通したあと、M12×70ボルト②で組み付けてください。このとき、パイプ内部の配線を傷つけないようご注意ください。

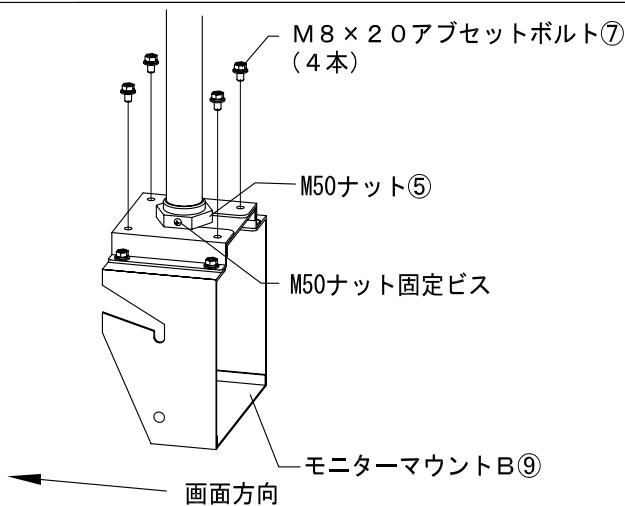
### 4. モニターマウントB⑨をスライドパネル⑧に取り付ける



(1) 連結パイプに通しておいたスライドパネル⑧と、モニターマウントB⑨の上部BOX部分の位置を合わせ、スライドパネル⑧がBOX部分の内側に入るようスライドさせてください。



この時、スライドパネル⑧がモニターマウントB⑨上部のBOX部に確実に収まっていることを確認した上で、次の作業に進んでください。



(2) モニターマウントB⑨上部BOX部分と、その内側に収まっているスライドパネル⑧との穴位置が合っていることを確認し、M8×20アブセットボルト⑦(4本)で確実に固定してください。

(3) モニターマウントB⑨の左右の方向（モニターの画面左右方向）を角度調整した後、【手順3. 天井ベース①に連結パイプ⑥を取り付ける】の(1)で連結パイプ⑥に通しておいたM50ナット⑤を最後まで確実に締め付け、M50ナットに付いている固定ビスを締め付けてください。

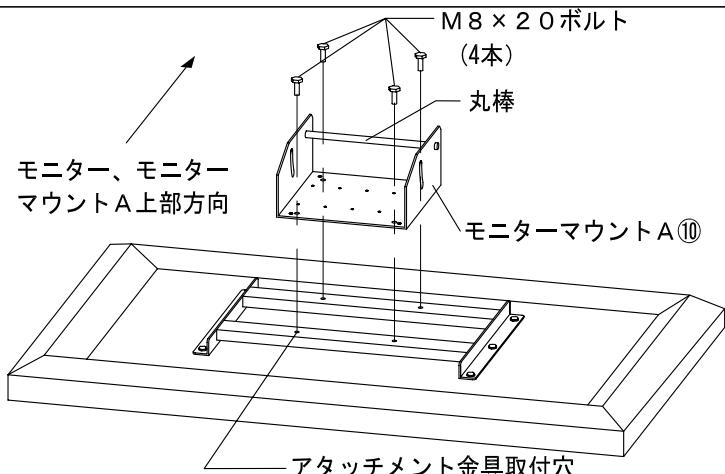
#### 禁止



本製品は回転式ではありません。  
モニターの画面方向決定後は決して回転させないでください。無理に回転させるとM50ナットが緩み、モニターの落下、死亡事故の原因となります。

### 5. モニターにモニターマウントA⑩を取り付ける

#### ・各社PDPモニター対応アタッチメント金具・PDA-1～7を使用する場合



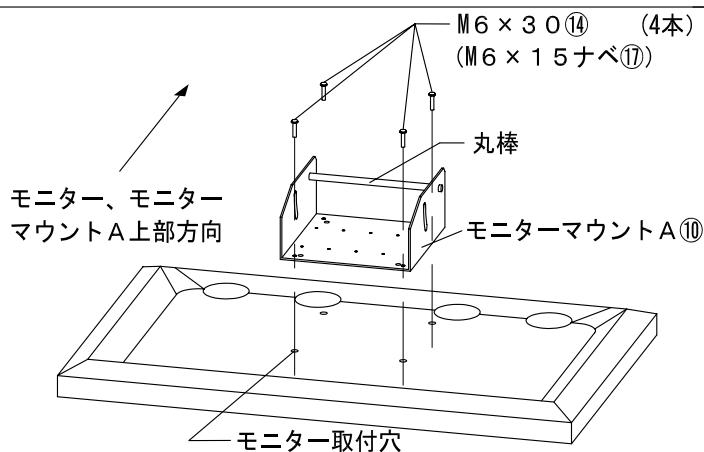
(1) モニターマウントA⑩の穴位置B(P. 3左下図参照)を、アタッチメント金具の取り付け穴に合わせます。

(2) PDA-1～7に同梱のM8×20ボルト(4本)を使用してしっかりと締め付けます。

#### 注意

- モニターへのアタッチメント金具の取り付けは、アタッチメント金具に同梱の取付説明書をよくお読みになり、確実に取り付けてください。
- モニターマウントA⑩には上下方向があります。モニターマウントA⑩上部の丸棒と、モニターの上方向を合わせるようにしてください。
- モニター画面に傷および、破損が生じないように、保護シートなどを敷いてから作業してください。

## ・シャープ(株)製45V型、37V型、32V型を取り付ける場合

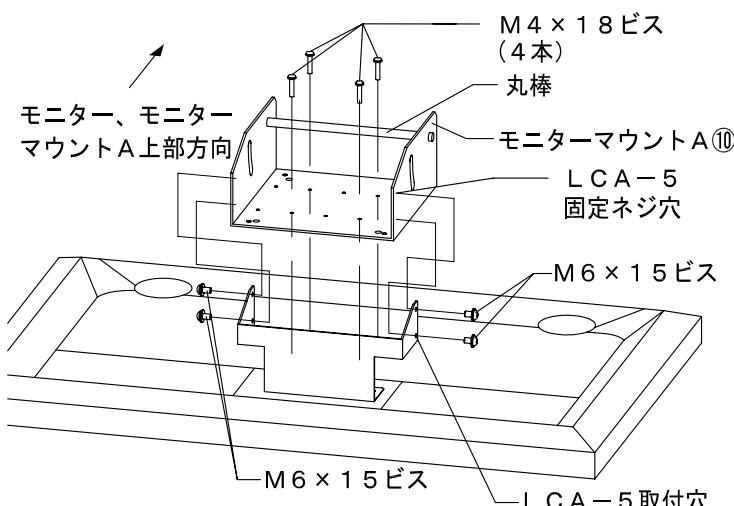


- (1) モニターマウントA⑩の穴位置A (P. 3左下図参照)を、モニター背面の取り付け穴に合わせます。
- (2) 取り付けるモニターがセパレートタイプ (チューナー別体型) の場合は同梱のM6×30アブセットボルト⑭ (4本)を使用し、一体型 (チューナー内蔵型) の場合は同梱のM6×15ナベ⑯ (4本)を使用してしっかりと締め付けます。

### △注意

- ・モニターマウントA⑩には上下方向があります。モニターマウントA⑩上部の丸棒と、モニターの上方向を合わせるようにしてください。
- ・モニター画面に傷および、破損が生じないように、保護シートなどを敷いてから作業してください。

## ・シャープ(株)製30インチ液晶モニター対応アタッチメント金具・LCA-5を使用する場合



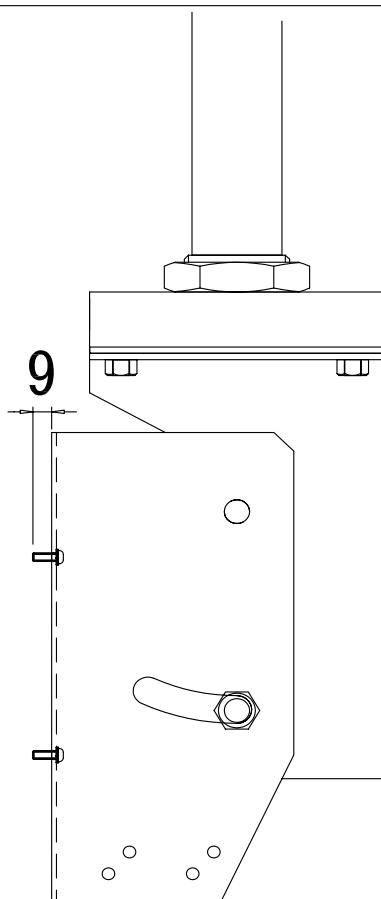
- (1) モニターマウントA⑩の穴位置C (P. 3左下図参照)を、モニター背面の取り付け穴に合わせ、LCA-5に同梱のM4×18ビス (4本)で借り止めておきます。
- (2) モニターマウントA⑩両サイドの、LCA-5固定ネジ穴と、LCA-5の取り付け穴を合わせ、LCA-5に同梱のM6×15ビス (4本)で借り止めします。
- (3) 全てのビスが確実に入っていることを確認してから、しっかりと締め付けます。

### △注意

- ・モニターへのアタッチメント金具の取り付けは、アタッチメント金具に同梱の取付説明書をよくお読みになり、確実に取り付けてください。
- ・モニターマウントA⑩には上下方向があります。モニターマウントA⑩上部の丸棒と、モニターの上方向を合わせるようにしてください。
- ・モニター画面に傷および、破損が生じないように、保護シートなどを敷いてから作業してください。

## ・VESAインターフェイス規格 100mm×100mmのモニターを取り付ける場合

(図1)



### ・液晶テレビ固定用ネジの確認

本製品に付属の液晶テレビ取付ネジ (M4×12ナベ) ⑮は、モニターマウントA⑩に取り付けたとき、(図1)のように金具の取り付け面から長さが約9mmとなります。

必ず取り付けの前に、モニターに適切なネジ深さ、ネジ径をモニターメーカーへ問い合わせまたは、モニターの取扱説明書などで確認してください。

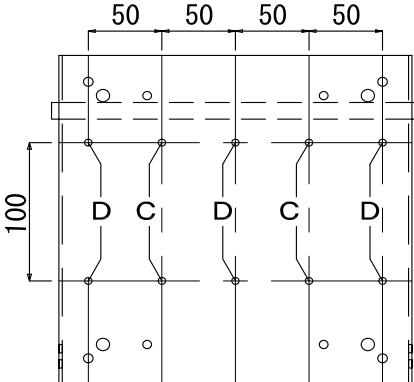
付属のモニター固定ネジが合わない場合、モニターに適切なネジを別途ご用意ください。

### ! 危険

モニターに適切なネジ深さ、ネジ径を確認せず、本製品に付属の液晶テレビ取付ネジ (M4×12ナベ) ⑮を使用し固定した場合、モニターの脱落および、モニター破損の原因となる場合があります。

液晶テレビ取付ネジ (M4×12ナベ) ⑮の誤使用による事故などにつきましては当社は一切責任を負いません。

・VESAインターフェイス規格 100mm×100mmのモニターを取り付ける場合(つづき)

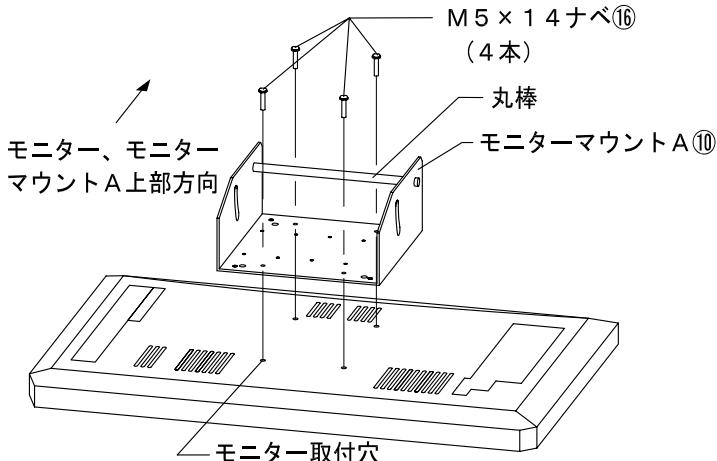


- モニターマウントA⑩の穴位置C、穴位置D(左図参照)はVESAインターフェイス規格100mm×100mmのモニター用取り付け穴となっています。
- モニター側取り付け穴が4箇所の場合は穴位置Cを使用し、モニターに適切な長さのM4ビス(4本)でしっかりと締め付けて固定してください。
- モニター側取り付け穴が6箇所の場合は穴位置Dを使用し、モニターに適切な長さのM4ビス(6本)でしっかりと締め付けて固定してください。

**△ 注意**

- モニターマウントA⑩には上下方向があります。モニターマウントA⑩上部の丸棒と、モニターの上方向を合わせるようにしてください。
- モニター画面に傷および、破損が生じないように、保護シートなどを敷いてから作業してください。

・日本ビクター(株)製LT-32LA4、LT-32LC50B/S、LT-26LC4、LT-26LC41、LT-26LC50B/Sを取り付ける場合



(1)モニターマウントA⑩の穴位置E(P. 3左下図参照)を、モニター背面の取り付け穴に合わせます。

(2)同様のM5×14ナベ⑯(4本)を使用してしっかりと締め付けます。

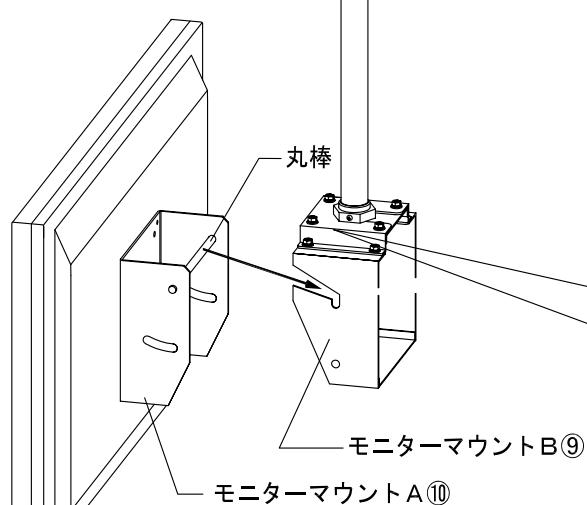
**△ 注意**

- モニターマウントA⑩には上下方向があります。モニターマウントA⑩上部の丸棒と、モニターの上方向を合わせるようにしてください。
- モニター画面に傷および、破損が生じないように、保護シートなどを敷いてから作業してください。

## 6. モニターを取り付けたモニターマウントA⑩を、モニターマウントB⑨に取り付ける

**△ 警告**

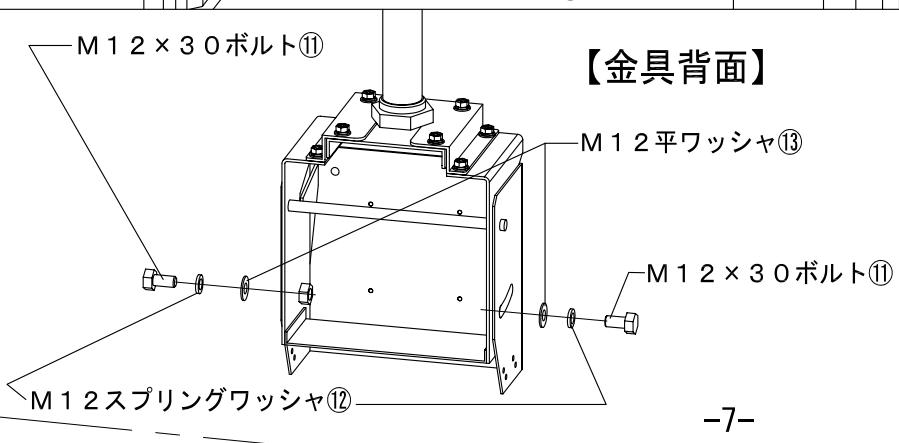
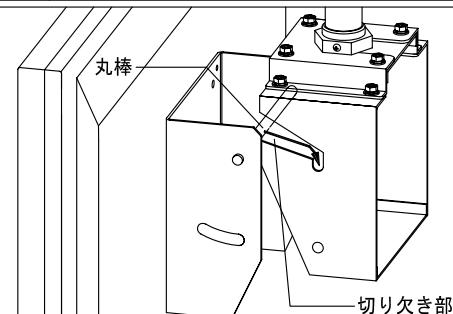
モニターをモニターマウントBに取り付ける時は、必ず二人以上で作業を行ってください。  
無理に作業をしますとモニターが落下し、けがや破損の原因となります。



(1)モニターを取り付けたモニターマウントA⑩の丸棒を、モニターマウントB⑨の切り欠き部からスライドさせて引っかけます。



この時、モニターマウントA⑩の丸棒が、モニターマウントB⑨の切り欠き部に確実に収まっていることを確認した上で、次の作業に進んでください。

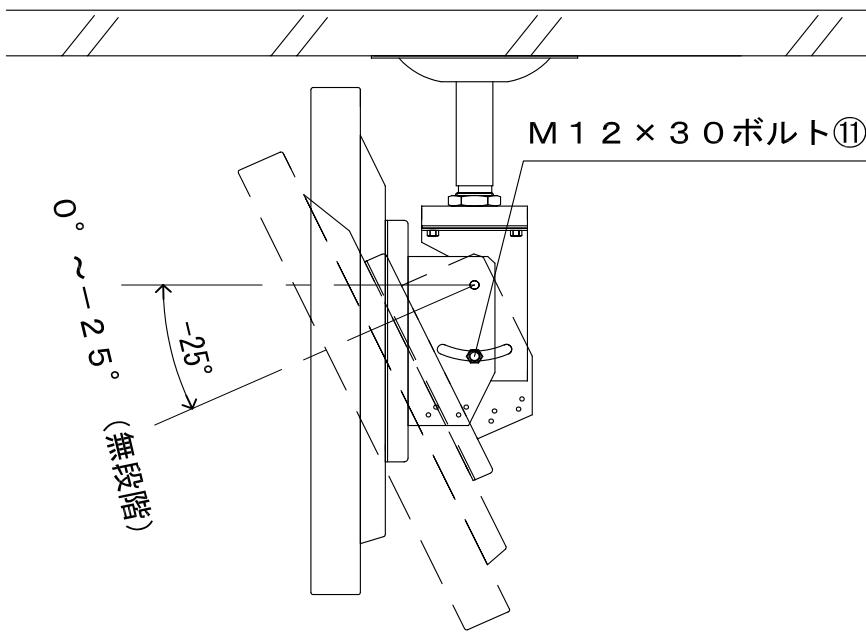


(2)モニターマウントA⑩の角度調整穴に、M12平ワッシャ⑬、M12スプリングワッシャ⑫をM12×30ボルト⑪で、モニターマウントB⑨の角度固定ネジ穴にしっかりと締め付けます。

## 7. 天吊り金具の角度調整

<b>危険</b>	角度調整時にはボルトを緩めすぎないようにしてください。モニターが落下して、死亡事故の原因となります。
<b>警告</b>	角度調整時にモニターマウントB⑨、モニターマウントA⑩には触れないでください。指をはさんで、けがの原因となります。

- この天吊り金具は「傾斜なし」から $-25^{\circ}$  傾斜まで無段階の角度調整が可能です。  
角度を変える場合は、M 12 × 30 ボルト⑪を少し緩め、角度を調整したあとに再度、M 12 × 30 ボルト⑪をしっかりと締め付けます。



(1) M 12 × 30 ボルト⑪を少し緩めます。

(2) モニターの端を持って角度を調整したあとに再度、M 12 × 30 ボルト⑪をしっかりと締め付けます。

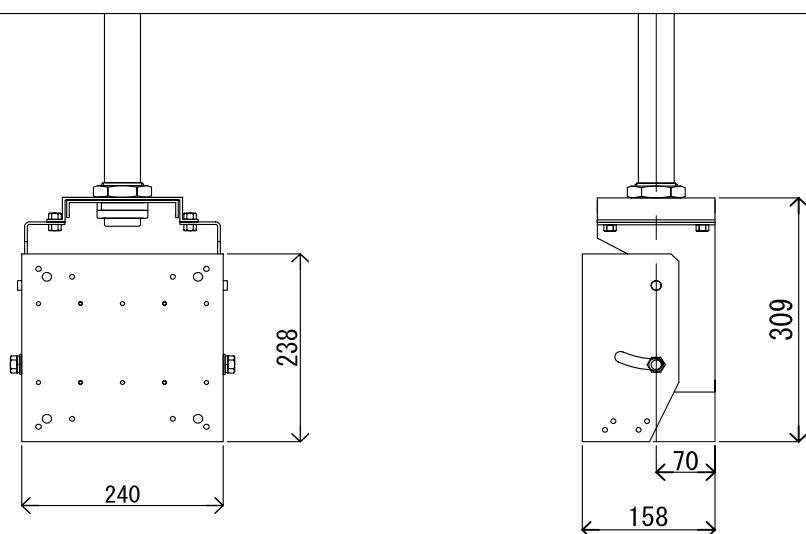
### <仕様>

重 量 : 6.2 kg (天井ベース、連結パイプ除く)

傾 斜 角 度 : 水平から下向き  $0^{\circ}$  ~  $-25^{\circ}$

取付最大荷重 : 60 kg (取付モニターの許容質量)

### <外観寸法>



■安全上のご注意は、製造物責任法に基づく記載です。

\* 上記の仕様及び外観は予告なく変更する場合があります。

商品及び、ご使用にあたってのお問い合わせは弊社窓口までご相談ください。

ハイテクフォーラム株式会社 商品企画部

〒594-0076 大阪府和泉市肥子町2丁目5番7号

T E L / 0725-43-7700 F A X / 0725-43-7713

<http://www.hitechforum.co.jp/>